

永井和之新学長 挨拶



専門分野 会社法

出身都道府県 東京都

出身大学 中央大学

学長に就任して1か月が経とうとしているこの機会に、学生諸君に自己紹介を兼ねて、この紙面を借りて挨拶をしたいと思います。私は、昭和39年東京オリンピックの年に入学して、大学紛争まつただ中の昭和43年に本学法学部法律学科を卒業しました。学生時代の信条は、『可能な限りの努力をする』というだけで、これは何も私一人の信条ではなく、私の仲間すべてに共通した信条ではなかったかと思います。

大学の助手に残ったのは、恩師戸田修三先生をはじめ何人かの先生方から勧められたからです。なんで勧められたのかは、その理由を聞いたことはありません。助手に残った私自身の理由は、何年間は大学の助手として研究をして論文を書くのも悪くはないかという程度であり、教員になるという自覚は希薄でした。

しかし、助教として後輩である学生諸君に接していくうちに、大学に残った者の責任として、母校の伝統を守り、発展させなければならぬという気持ちがかたんだん強くなりました。

そして、今は、新しい世紀に燦然として輝く新しい姿の母校を夢見て、できる限りの努力をしていきたいと考えています。そのためには、すべての構成員の叡智を集集し、すべての卒業生とも連携していかなければならないと思います。学生諸君には、それぞれの場において、全力で学生生活を充実させていくことを望みたいと思います。なぜならば、それが学生諸君がその叡智を、母校中央大学の新しい伝統を築いていくことに結集させることに他ならないと確信しているからであります。